

市民意識調査結果

北部地域

学校についての保護者・市民の意識

回答者数	一般市民	小学校保護者	中学校保護者	(人)
全市	1,832	1,234	448	
北部	128	96	27	

①現在の学校規模の評価について

設問【保護者】あなたのお子様の学級の児童数・生徒数について、どのように感じておられますか？(1つ)
 【保護者】あなたのお子様の学年の学級数について、どのように感じておられますか？(1つ)

現在の児童・生徒数については、「ちょうど良い」が小学校で63%、中学校では59%と最も多く、小学校の方が評価は高くなっています。希望では小学校は「もっと少ないほうがよい」と「もっと多いほうがよい」が同程度ですが、中学校は「もっと少ないほうがよい」が41%と多くなっています。

現在の学級数については、中学校では「ちょうど良い」が70%で最も多いですが、小学校では「もっと多いほうがよい」が50%と多く、意見が分かれています。

全市と比較すると、児童数は「もっと多いほうがよい」、生徒数は「もっと少ないほうがよい」、学級数は小学校が「もっと多いほうがよい」、中学校が「ちょうど良い」とする保護者が、全市よりも北部ブロックでは多くなっています。

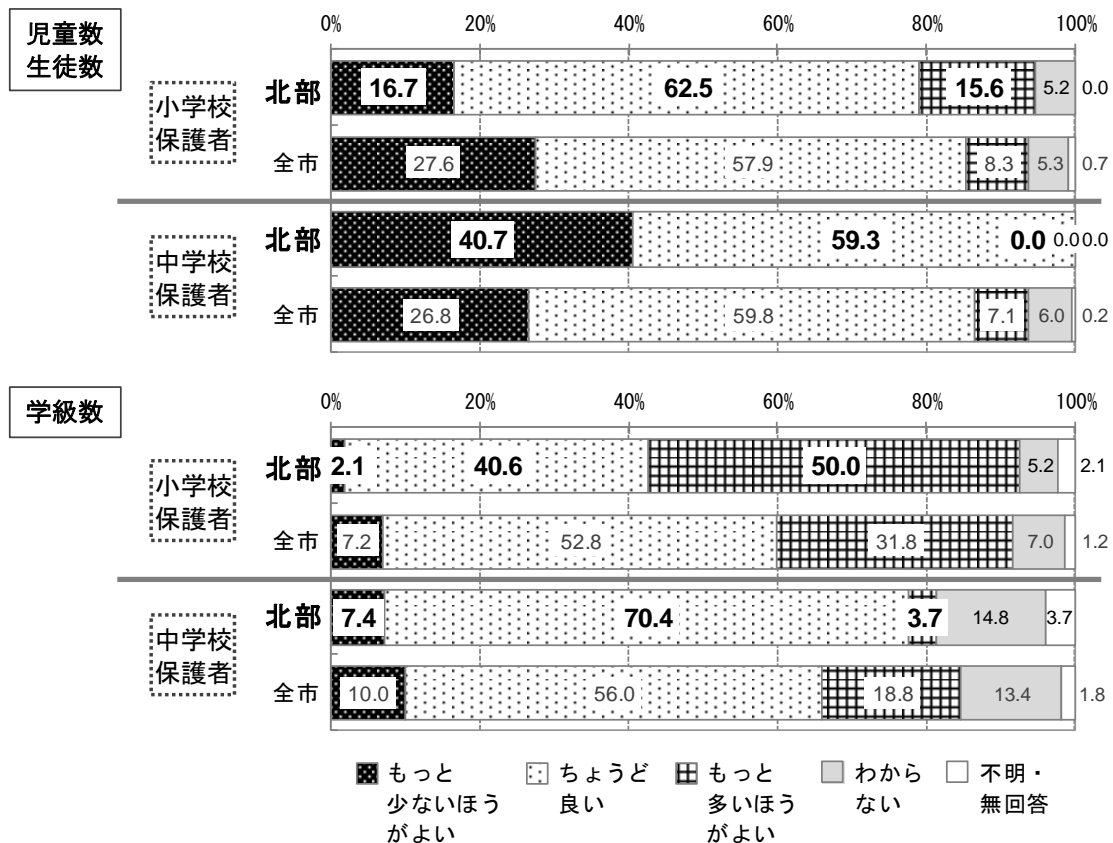


図 現在の児童数・生徒数および学級数に対する意識<保護者調査>

②学校規模の見直しの必要性について

設問【市民・保護者】 あなたの地域の小学校・中学校について、より良い教育環境を実現するため、学校の統合や分離新設、通学区域の見直し等、何らかの見直しが必要であると思いますか？(1つ)

居住地の学校についてのより良い教育環境を実現するための見直しの必要性は、小学校については、【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「現状のままでよい」が「見直しが必要である¹⁾」を大きく上回っています。一方【市民】では「現状のままでよい」と「見直しが必要である」が4割弱でほぼ拮抗しています。

中学校については、【小学校保護者】【中学校保護者】は、「現状のままでよい」が「見直しが必要である」を大きく上回り、一方、【市民】では「見直しが必要である」が多く、調査対象主体の別により意見が分かれています。

全市と比較すると、小学校については【市民】【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「現状のままでよい」とする回答、中学校については【小学校保護者】と【中学校保護者】で「現状のままでよい」とする回答が、全市よりも北部ブロックでは多くなっています。

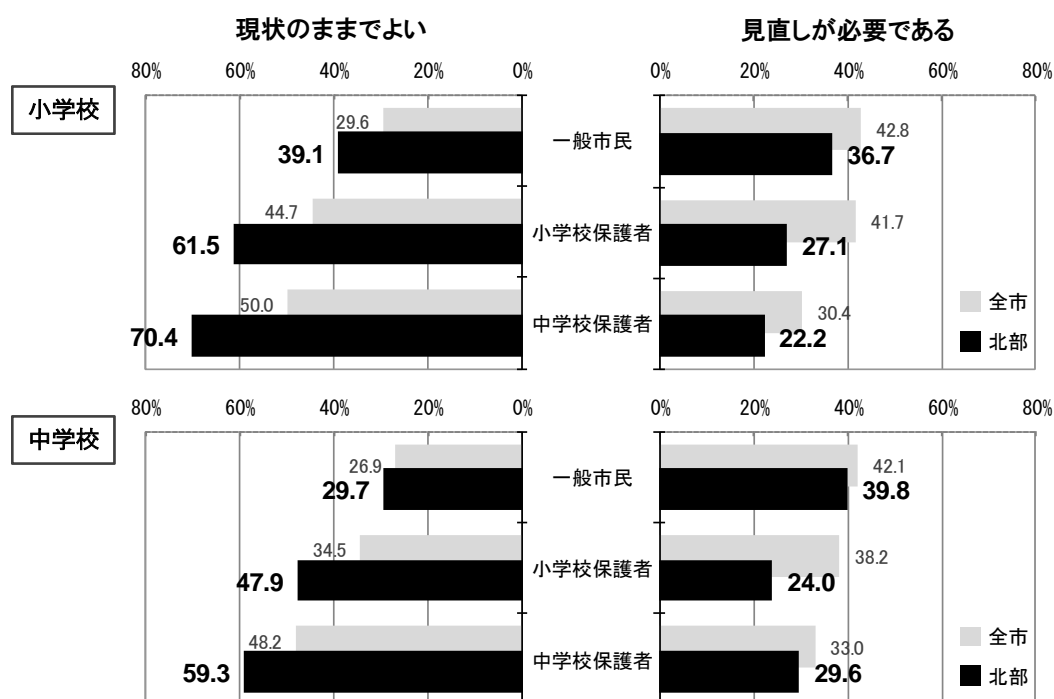


図 より良い教育環境を実現するための見直しの必要性<市民調査・保護者調査>

③教育環境の充実策について

設問【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。
【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。

¹⁾ 「見直しが必要である」は「現時点から見直しが必要」＋「将来的には見直しが必要」の合計

小規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【小学校保護者】では、「効果的な多人数指導」と「施設の複合化による異年齢交流の機会の増加」の2施策となっています。一方、【中学校保護者】では過半数を占めている施策はありません。

大規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【中学校保護者】では、「通学区域の見直し」と「教職員数の増員」の2施策で、【市民】では「通学区域の見直し」のみとなっています。一方、【小学校保護者】では過半数を占めている施策はありません。

全市との比較は、全市よりも『肯定』が5ポイント以上高いものとして、【市民】では、「効果的な多人数指導」、「学校の分離新設」、「中学校保護者」では「学校の特色化」、「学校の増改築」、「通学区域の見直し」、「教職員数の増員」があげられます。一方、【小学校保護者】では、全市よりも『肯定』が5ポイント以上高い施策は見られません。

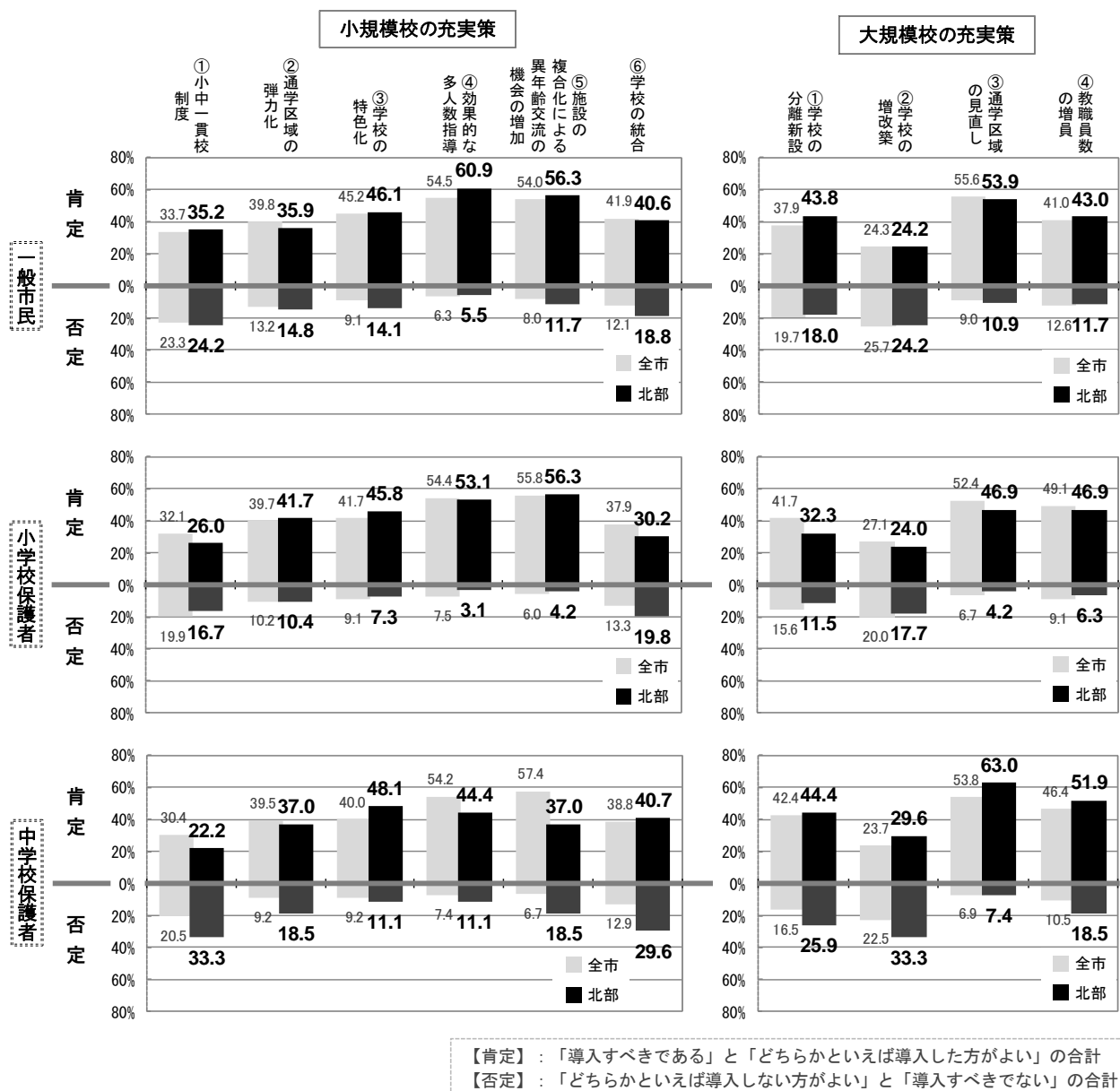


図 小規模な学校の充実策および大規模な学校の充実策＜市民調査・保護者調査＞

西北部地域

資料2 学校についての保護者・市民の意識

回答者数	一般市民	小学校保護者	中学校保護者	(人)
全市	1,832	1,234	448	
西北部	278	195	115	

①現在の学校規模の評価について

設問【保護者】あなたのお子様の学級の児童数・生徒数について、どのように感じておられますか？(1つ)
 【保護者】あなたのお子様の学年の学級数について、どのように感じておられますか？(1つ)

現在の児童・生徒数については、「ちょうど良い」が小学校で50%、中学校では57%と最も多く、中学校の方が評価は高くなっています。希望では小学校は「もっと少ないほうがよい」と「もっと多いほうがよい」が同程度ですが、中学校は「もっと多いほうがよい」が21%と、「もっと少ないほうがよい」を上回っています。

現在の学級数については、小学校では「もっと多いほうがよい」が53%で最も多いですが、中学校では「ちょうど良い」が52%と多く、意見が分かれています。

全市と比較すると、児童・生徒数はともに「もっと多いほうがよい」、学級数も小学校・中学校ともに「もっと多いほうがよい」とする保護者が、全市よりも西北部ブロックでは多くなっています。

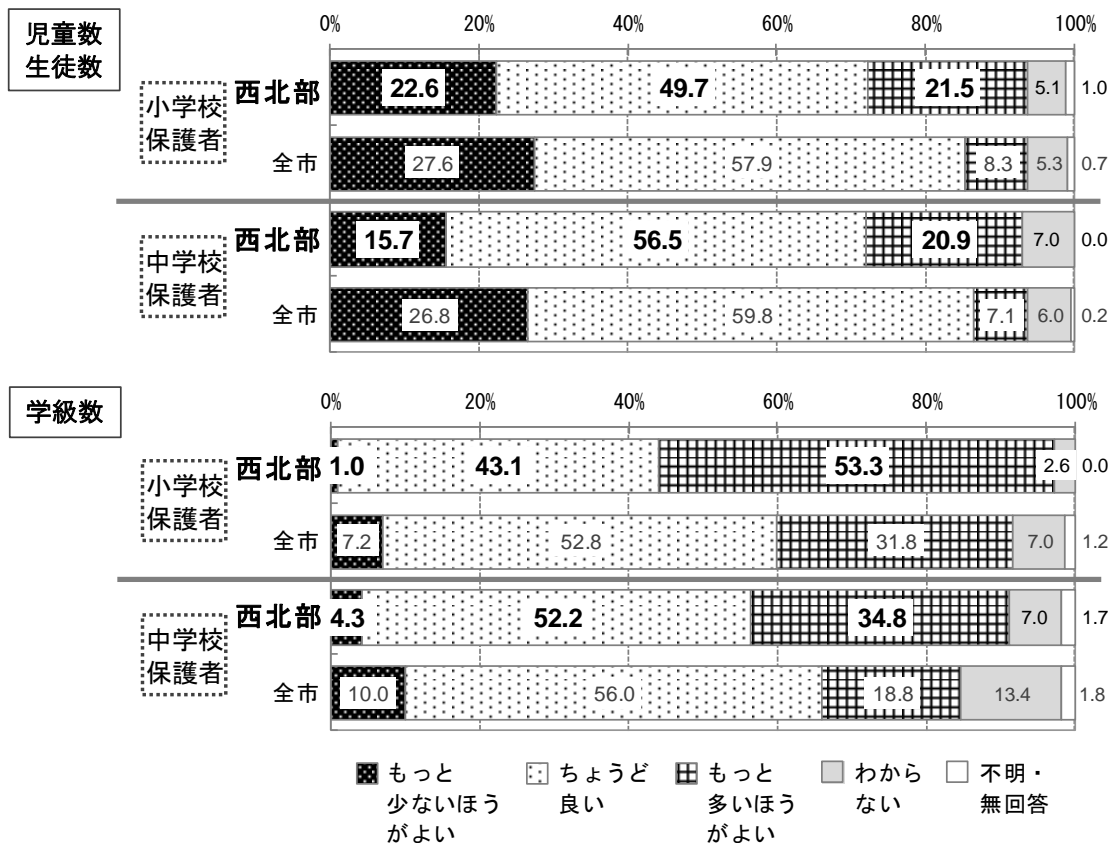


図 現在の児童数・生徒数および学級数に対する意識<保護者調査>

②学校規模の見直しの必要性について

設問【市民・保護者】 あなたの地域の小学校・中学校について、より良い教育環境を実現するため、学校の統合や分離新設、通学区域の見直し等、何らかの見直しが必要であると思いますか？(1つ)

居住地の学校についてのより良い教育環境を実現するための見直しの必要性は、小学校については、【市民】【小学校保護者】は「見直しが必要である²⁾」が「現状のままでよい」を大きく上回り、一方、【中学校保護者】では「現状のままでよい」が多く、調査対象主体の別により意見が分かれています。

中学校については、【小学校保護者】は「現状のままでよい」と「見直しが必要である」が拮抗しています。【市民】では「見直しが必要である」が「現状のままでよい」を大きく上回り、一方、【中学校保護者】では「現状のままでよい」が多く、調査対象主体の別により意見が分かれています。

全市と比較すると、【中学校保護者】では大きな差は見られないが、【市民】が小学校・中学校ともに「見直しが必要である」とする回答、【小学校保護者】が小学校の「見直しが必要である」とする回答が、全市よりも西北部ブロックでは多くなっています。

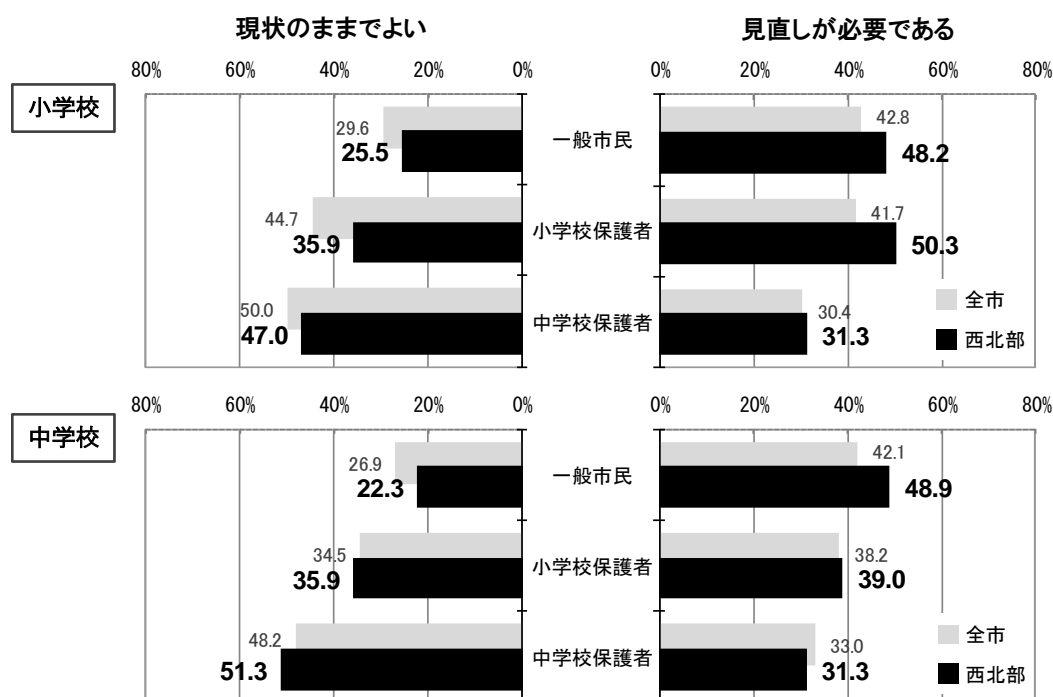


図 より良い教育環境を実現するための見直しの必要性<市民調査・保護者調査>

③教育環境の充実策について

設問【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。

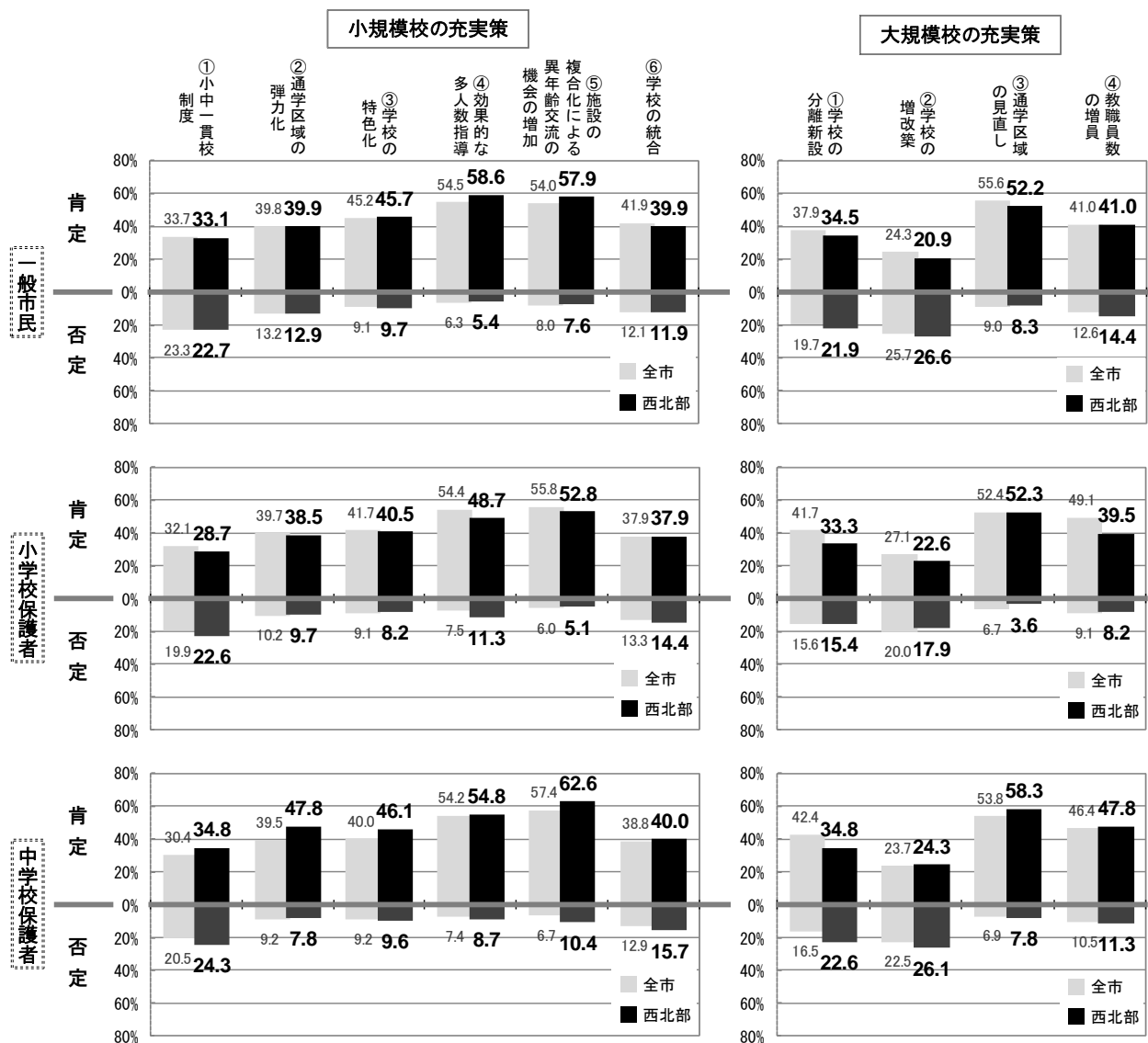
【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。

²⁾ 「見直しが必要である」は「現時点から見直しが必要」＋「将来的には見直しが必要」の合計

小規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「施設の複合化による異年齢交流の機会の増加」の1施策で、【市民】【中学校保護者】では、「効果的な多人数指導」も過半数を占めます。

大規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「通学区域の見直し」の1施策となっています。

全市との比較は、【中学校保護者】では、全市よりも『肯定』が5ポイント以上高いものとして、「通学区域の弾力化」、「学校の特色化」、「施設の複合化による異年齢交流の機会の増加」があげられます。一方、【市民】【小学校保護者】では、全市よりも『肯定』が5ポイント以上高い施策は見られません。



【肯定】：「導入すべきである」と「どちらかといえば導入した方がよい」の合計
 【否定】：「どちらかといえば導入しない方がよい」と「導入すべきでない」の合計

図 小規模な学校の充実策および大規模な学校の充実策＜市民調査・保護者調査＞

中北部

資料2 学校についての保護者・市民の意識

回答者数	一般市民	小学校保護者	中学校保護者	(人)
全市	1,832	1,234	448	
中北部	248	169	48	

①現在の学校規模の評価について

設問【保護者】あなたのお子様の学級の児童数・生徒数について、どのように感じておられますか？(1つ)
 【保護者】あなたのお子様の学年の学級数について、どのように感じておられますか？(1つ)

現在の児童・生徒数については、「ちょうど良い」が小学校で71%、中学校では60%と最も多く、小学校の方が評価は高くなっています。希望では「もっと少ないほうがよい」が小学校で17%、中学校で33%と、「もっと多いほうがよい」を大きく上回っています。

現在の学級数については、「ちょうど良い」が小学校で58%、中学校では54%と最も多く、小学校の方が評価は高くなっています。希望では「もっと多いほうがよい」が小学校で31%と、「もっと少ないほうがよい」を大きく上回っています。

全市と比較すると、児童数は「ちょうど良い」、生徒数は「もっと少ないほうがよい」、学級数は小学校が「ちょうど良い」、中学校が「もっと少ないほうがよい」とする保護者が、全市よりも中北部ブロックでは多くなっています。

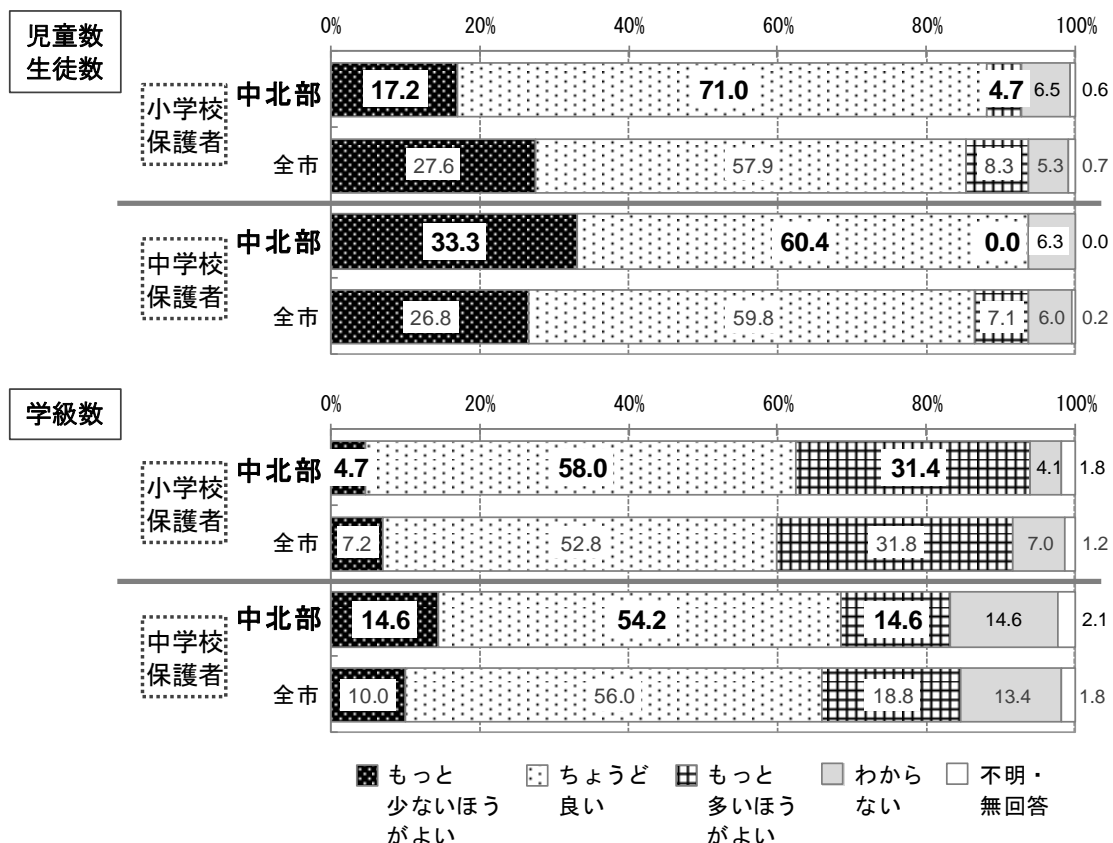


図 現在の児童数・生徒数および学級数に対する意識<保護者調査>

②学校規模の見直しの必要性について

設問【市民・保護者】 あなたの地域の小学校・中学校について、より良い教育環境を実現するため、学校の統合や分離新設、通学区域の見直し等、何らかの見直しが必要であると思いますか？(1つ)

居住地の学校についてのより良い教育環境を実現するための見直しの必要性は、小学校については、【市民】【中学校保護者】は、「見直しが必要である³⁾」が「現状のままでよい」を上回り、一方、【小学校保護者】では「現状のままでよい」が多く、調査対象主体の別により意見が分かれています。

中学校については、【市民】【中学校保護者】では「見直しが必要である」が「現状のままでよい」を上回っています。一方、【小学校保護者】では「現状のままでよい」と「見直しが必要である」が4割弱でほぼ拮抗しています。

全市と比較すると、【市民】【小学校保護者】では大きな差は見られないが、【中学校保護者】が小学校・中学校の「見直しが必要である」とする回答が、全市よりも中北部ブロックでは多くなっています。

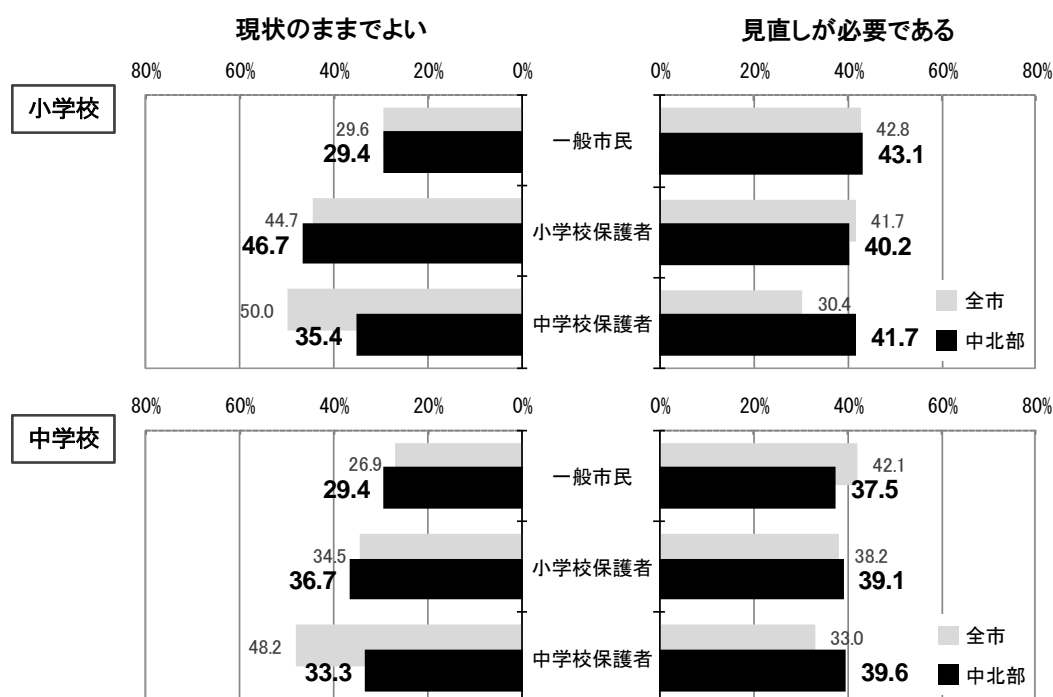


図 より良い教育環境を実現するための見直しの必要性<市民調査・保護者調査>

③教育環境の充実策について

設問【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。
【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。

³⁾ 「見直しが必要である」は「現時点から見直しが必要」＋「将来的には見直しが必要」の合計

小規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「効果的な多人数指導」の1施策で、【小学校保護者】【中学校保護者】では「施設の複合化による異年齢交流の機会の増加」も過半数を占めます。

大規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【小学校保護者】では、「通学区の見直し」の2施策となっています。【中学校保護者】では過半数を占めている施策はありません。

全市との比較は、【中学校保護者】では、全市よりも『肯定』が5ポイント以上高いものとして、「効果的な多人数指導」、「施設の複合化による異年齢交流の機会の増加」、「学校の統合」があげられます。一方、【市民】【小学校保護者】では、全市よりも『肯定』が5ポイント以上高い施策は見られません。

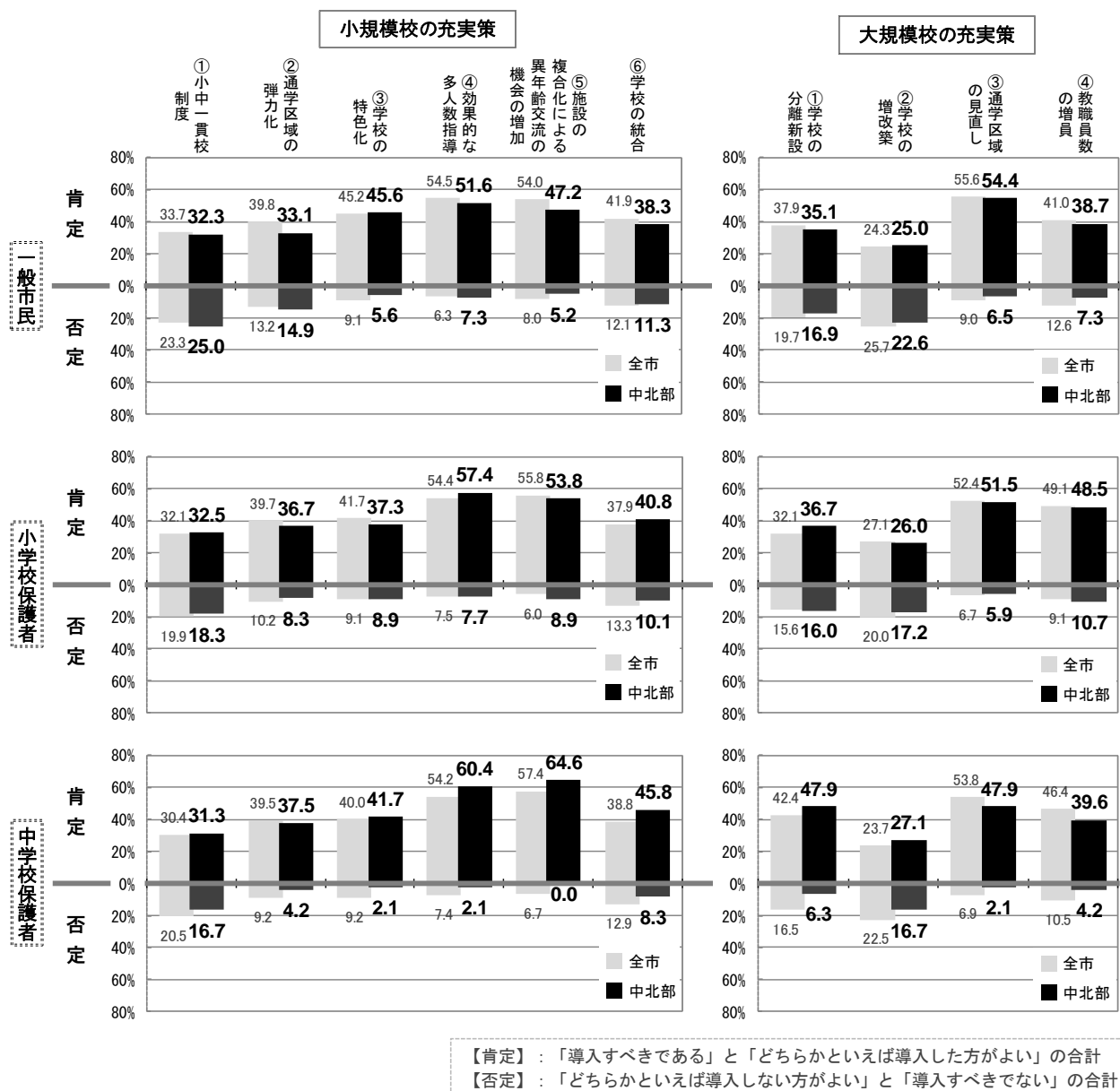


図 小規模な学校の充実策および大規模な学校の充実策＜市民調査・保護者調査＞

中部

資料2 学校についての保護者・市民の意識

回答者数	一般市民	小学校保護者	中学校保護者	(人)
全市	1,832	1,234	448	
中部	265	217	37	

①現在の学校規模の評価について

設問【保護者】あなたのお子様の学級の児童数・生徒数について、どのように感じておられますか？(1つ)
 【保護者】あなたのお子様の学年の学級数について、どのように感じておられますか？(1つ)

現在の児童・生徒数については、「ちょうど良い」が小学校で61%、中学校では81%と最も多く、中学校の方が評価は高くなっています。希望では「もっと少ないほうがよい」が小学校で28%、中学校で16%と、「もっと多いほうがよい」を大きく上回っています。

現在の学級数については、小学校では「もっと多いほうがよい」が54%で最も多いですが、中学校では「ちょうど良い」が51%と多く、意見が分かれています。

全市と比較すると、生徒数は「ちょうど良い」、学級数は小学校が「もっと多いほうがよい」、中学校が「もっと少ないほうがよい」とする保護者が、全市よりも中部ブロックでは多くなっています。

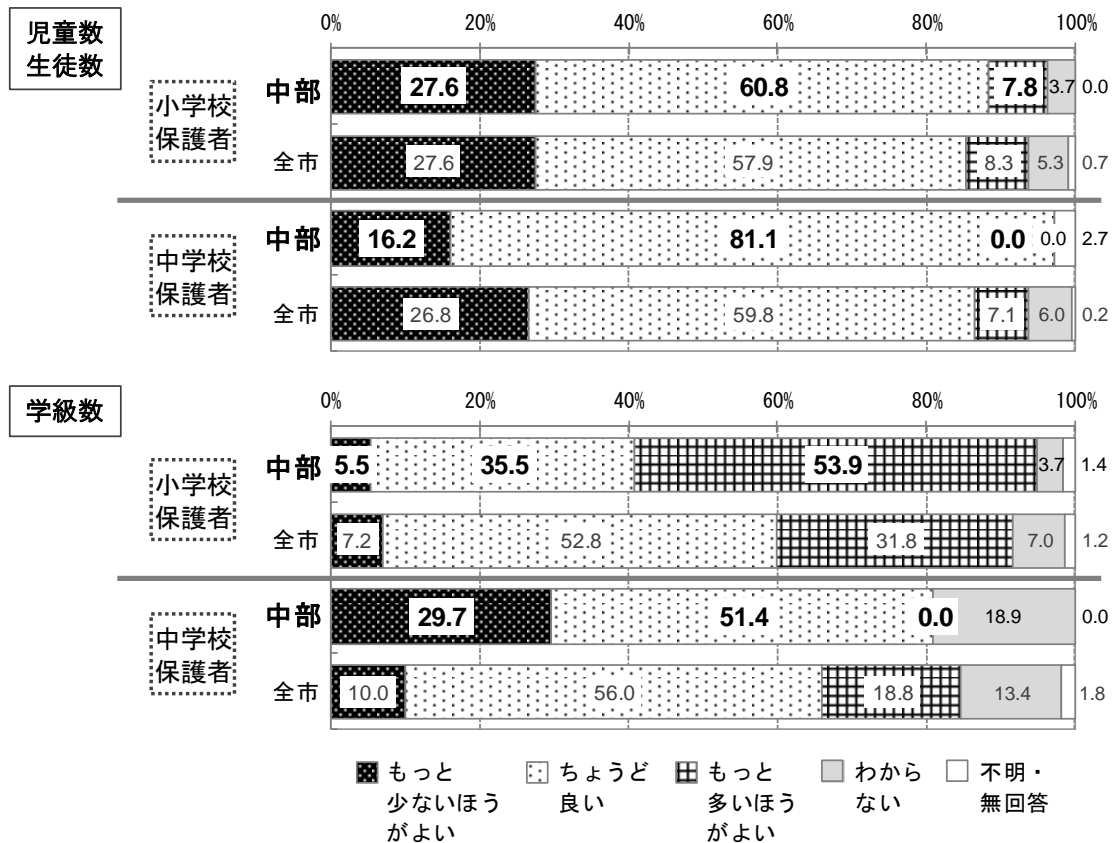


図 現在の児童数・生徒数および学級数に対する意識<保護者調査>

②学校規模の見直しの必要性について

設問【市民・保護者】 あなたの地域の小学校・中学校について、より良い教育環境を実現するため、学校の統合や分離新設、通学区域の見直し等、何らかの見直しが必要であると思いますか？(1つ)

居住地の学校についてのより良い教育環境を実現するための見直しの必要性は、小学校については、【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「現状のままでよい」と「見直しが必要である⁴⁾」が4割前後でほぼ拮抗しています。一方、【市民】では「見直しが必要である」が「現状のままでよい」を上回っています。

中学校については、【市民】【小学校保護者】は、「見直しが必要である」が「現状のままでよい」を大きく上回り、一方、【中学校保護者】では「現状のままでよい」が多く、小・中学校の別、調査対象主体の別により意見が分かれています。

全市と比較すると、【市民】では大きな差は見られないが、【小学校保護者】が中学校の「見直しが必要である」とし、【中学校保護者】が小学校の「見直しが必要である」及び中学校は「現状のままでよい」とする回答が、全市よりも中部ブロックでは多くなっています。

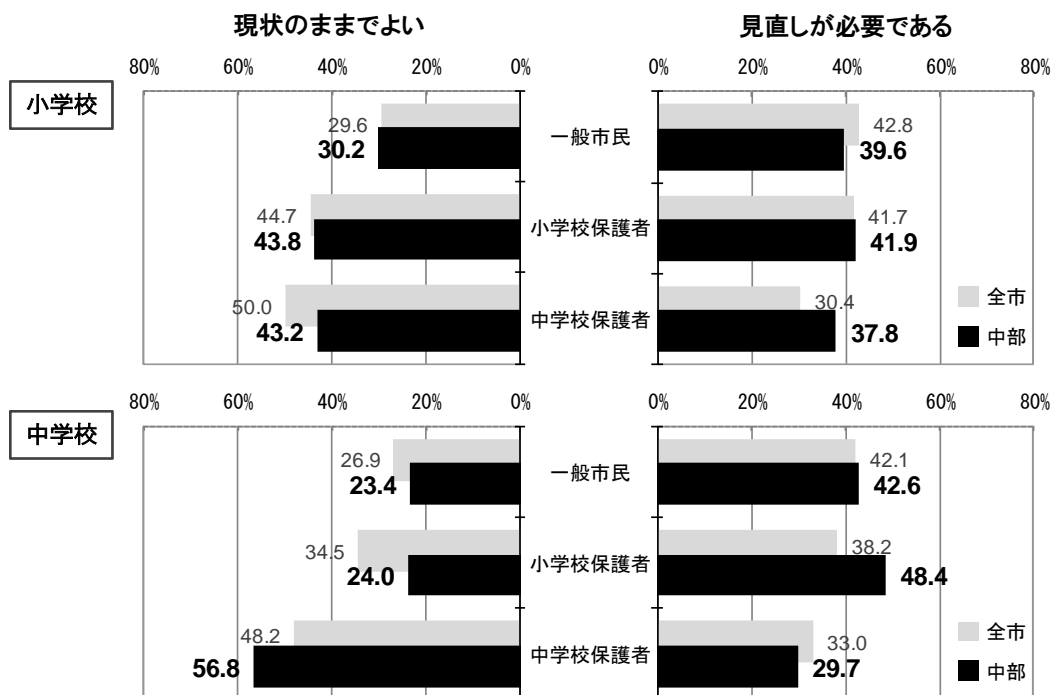


図 より良い教育環境を実現するための見直しの必要性<市民調査・保護者調査>

③教育環境の充実策について

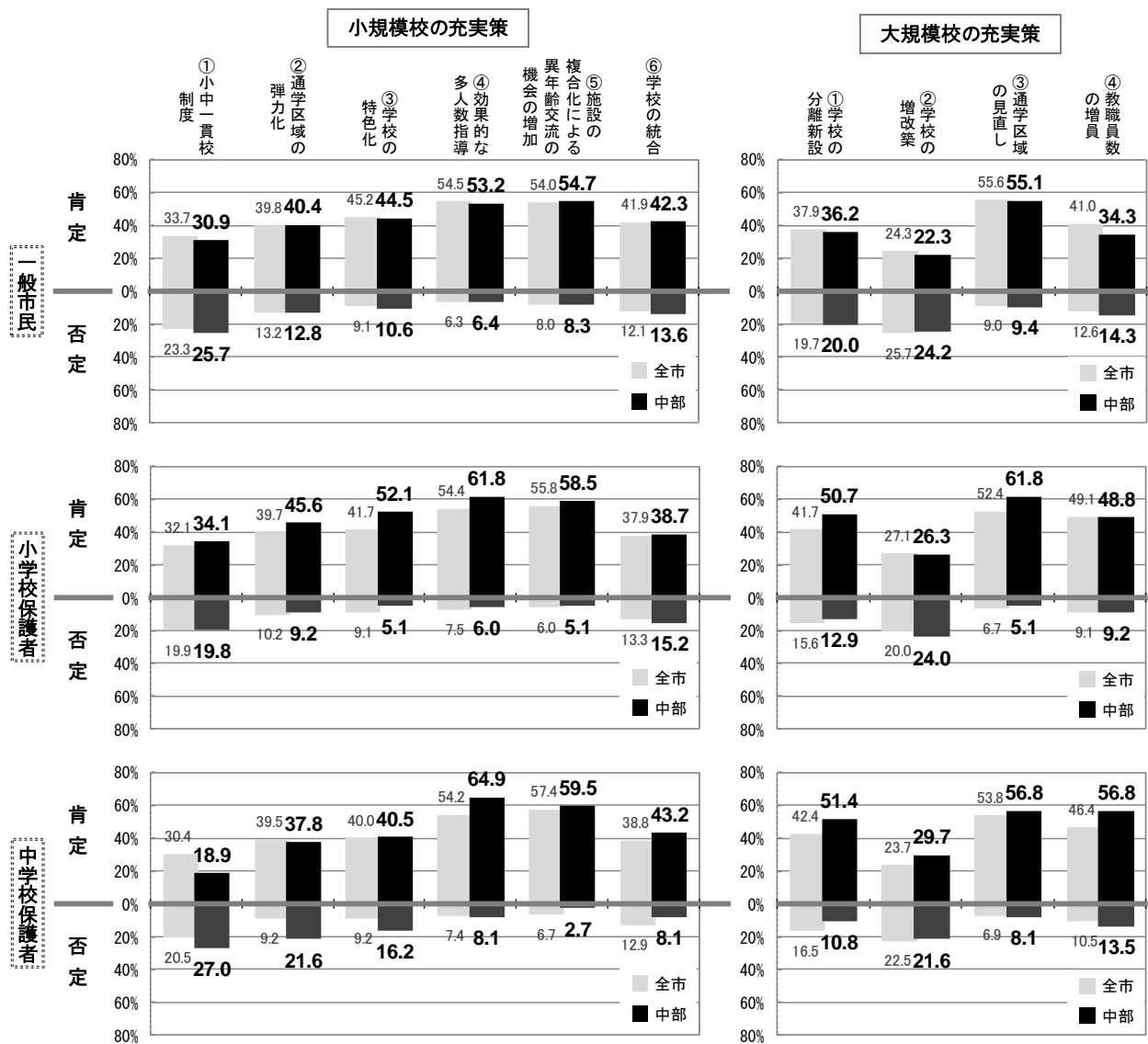
設問【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。
【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。

⁴ 「見直しが必要である」は「現時点から見直しが必要」＋「将来的には見直しが必要」の合計

小規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「効果的な多人数指導」「施設の複合化による異年齢交流の機会の増加」の2施策で、【小学校保護者】では、「学校の特色化」も過半数を占めます。

大規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【小学校保護者】【中学校保護者】では、「学校の分離新設」と「通学区域の見直し」の2施策で、【中学校保護者】では、「教職員数の増員」も過半数を占めます。【市民】では「通学区域の見直し」のみとなっています。

全市との比較は、【市民】では大きな差は見られません。一方、【保護者】では違いがあり、全市よりも【小学校保護者】あるいは【中学校保護者】の『肯定』が5ポイント以上高いものとして、「通学区域の弾力化」(小)、「学校の特色化」(小)、「効果的な多人数指導」(小・中)、「学校の分離新設」(小・中)、「学校の増改築」(中)、「通学区域の見直し」(小)、「教職員数の増員」(中)があげられます。



【肯定】：「導入すべきである」と「どちらかといえば導入した方がよい」の合計
 【否定】：「どちらかといえば導入しない方がよい」と「導入すべきでない」の合計

図 小規模な学校の充実策および大規模な学校の充実策＜市民調査・保護者調査＞

中南部

資料2 学校についての保護者・市民の意識

回答者数	一般市民	小学校保護者	中学校保護者	(人)
全市	1,832	1,234	448	
中南部	311	157	61	

①現在の学校規模の評価について

設問【保護者】あなたのお子様の学級の児童数・生徒数について、どのように感じておられますか？(1つ)
 【保護者】あなたのお子様の学年の学級数について、どのように感じておられますか？(1つ)

現在の児童・生徒数については、小学校では「ちょうど良い」が58%で最も多いですが、中学校では「もっと少ないほうがよい」と「ちょうど良い」が4割強でほぼ拮抗しています。小学校の希望では「もっと少ないほうがよい」が35%と、「もっと多いほうがよい」を大きく上回っています。

現在の学級数については、「ちょうど良い」が小学校で69%、中学校で67%と最も多く、同程度の評価となっています。

全市と比較すると、児童・生徒数はともに「もっと少ないほうがよい」、学級数は小学校・中学校ともに「ちょうど良い」とする保護者が、全市よりも中南部ブロックでは多くなっています。

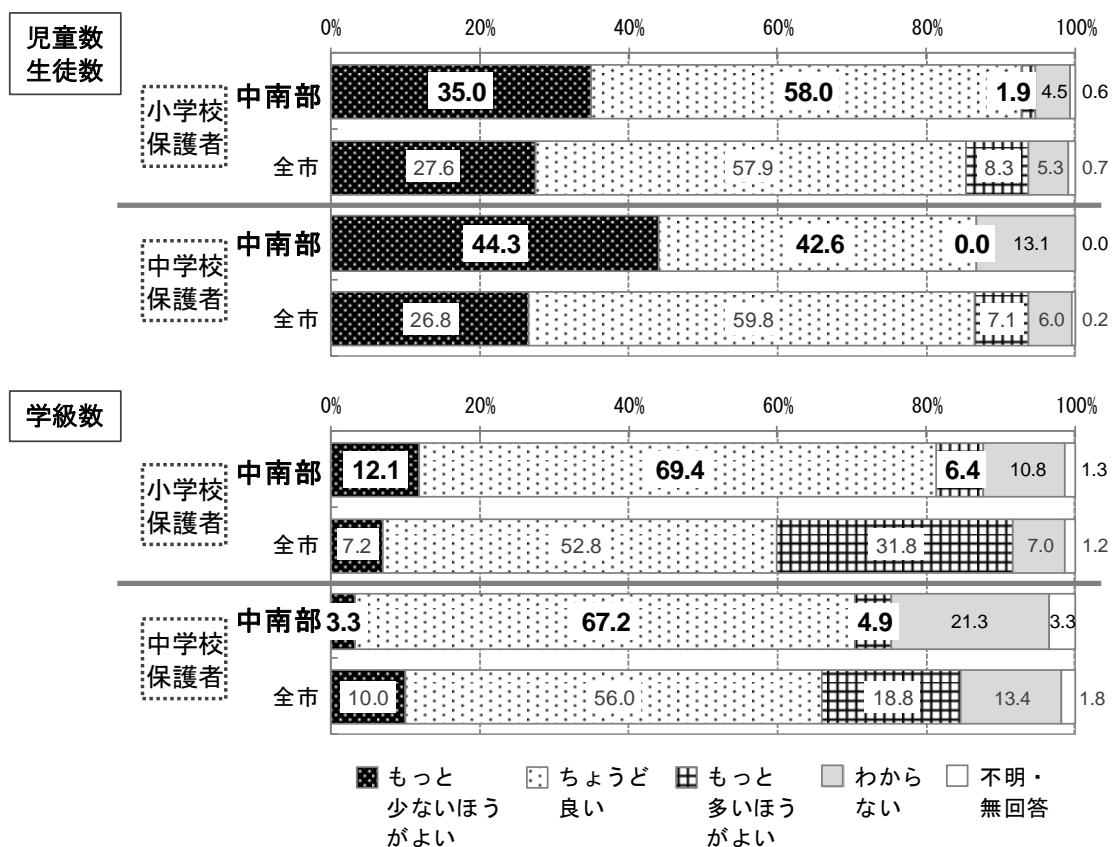


図 現在の児童数・生徒数および学級数に対する意識<保護者調査>

②学校規模の見直しの必要性について

設問【市民・保護者】 あなたの地域の小学校・中学校について、より良い教育環境を実現するため、学校の統合や分離新設、通学区域の見直し等、何らかの見直しが必要であると思いますか？(1つ)

居住地の学校についてのより良い教育環境を実現するための見直しの必要性は、小学校については、【小学校保護者】【中学校保護者】ともに、「現状のままでよい」が「見直しが必要である⁵⁾」を大きく上回り、一方、【市民】では「見直しが必要である」が「現状のままでよい」を大きく上回っています。

中学校についても、小学校と同様に、【小学校保護者】【中学校保護者】ともに、「現状のままでよい」が「見直しが必要である」を大きく上回り、一方、【市民】では「見直しが必要である」が「現状のままでよい」を大きく上回り、調査対象主体の別により意見が分かれています。

全市と比較すると、【市民】では大きな差は見られないが、【小学校保護者】が中学校は「現状のままでよい」とし、【中学校保護者】が小学校・中学校ともに「現状のままでよい」とする回答が、全市よりも中南部ブロックでは多くなっています。

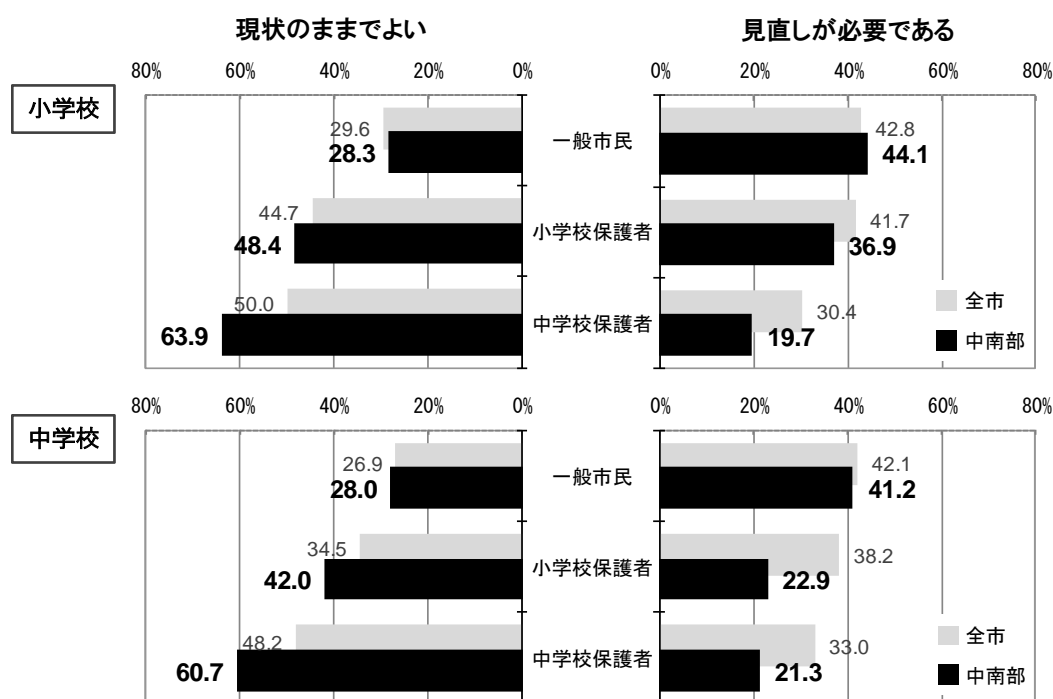


図 より良い教育環境を実現するための見直しの必要性<市民調査・保護者調査>

③教育環境の充実策について

設問【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。
【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。

⁵⁾ 「見直しが必要である」は「現時点から見直しが必要」 + 「将来的には見直しが必要」の合計

小規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「施設の複合化による異年齢交流の機会の増加」の1施策で、【市民】【中学校保護者】では、「効果的な多人数指導」も過半数を占めます。

大規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【中学校保護者】では、「通学区域の見直し」、【市民】では「教職員数の増員」となっています。

全市との比較は、【市民】では、全市よりも『肯定』が5ポイント以上高いものとして、「通学区域の弾力化」、「通学区域の見直し」があげられます。一方、【小学校保護者】【中学校保護者】では全市よりも『肯定』が5ポイント以上高い施策は見られません。

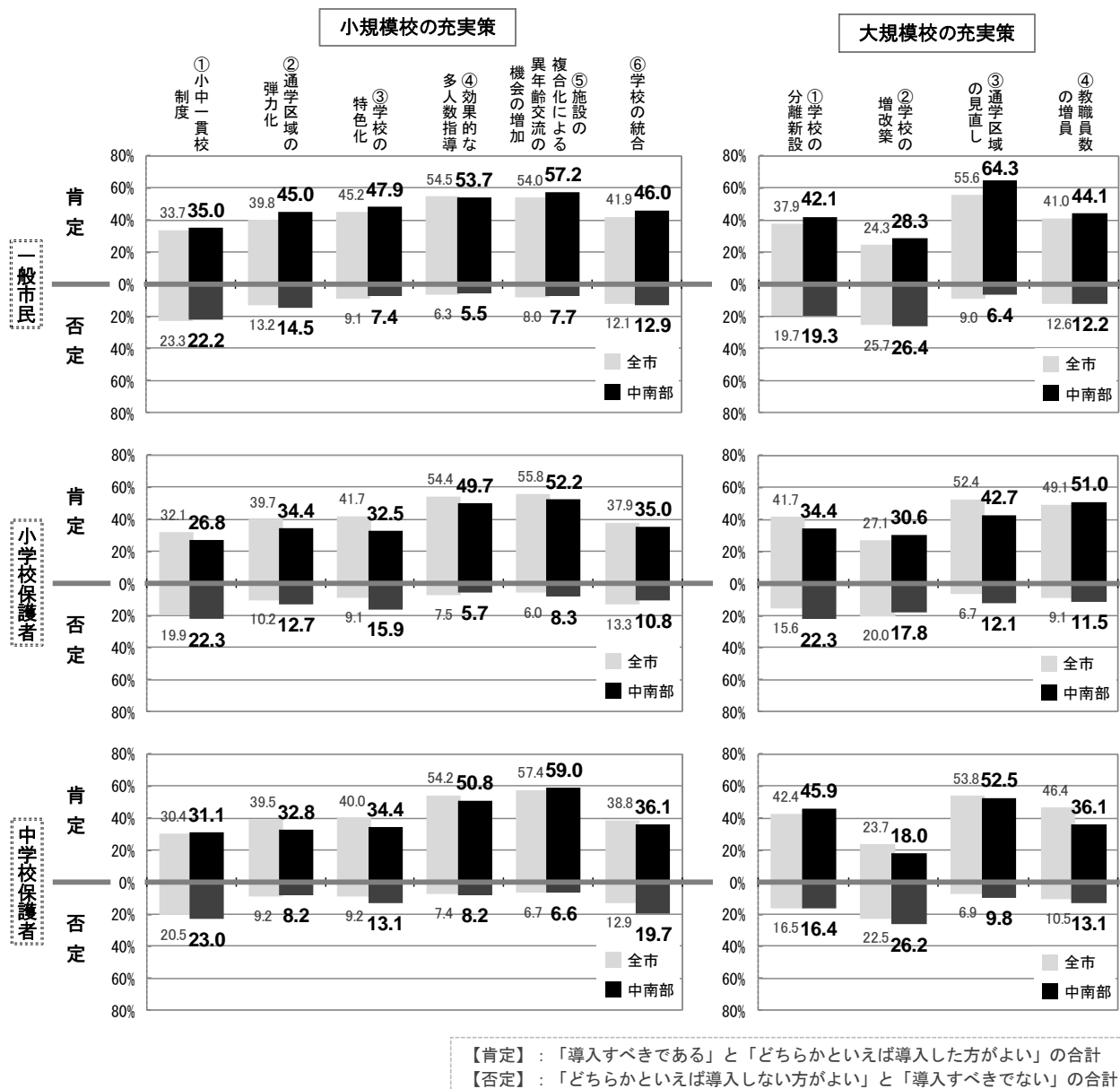


図 小規模な学校の充実策および大規模な学校の充実策＜市民調査・保護者調査＞

南部

資料2 学校についての保護者・市民の意識

回答者数	一般市民	小学校保護者	中学校保護者	(人)
全市	1,832	1,234	448	
南部	224	100	60	

①現在の学校規模の評価について

設問【保護者】あなたのお子様の学級の児童数・生徒数について、どのように感じておられますか？(1つ)
 【保護者】あなたのお子様の学年の学級数について、どのように感じておられますか？(1つ)

現在の児童・生徒数については、「ちょうど良い」が小学校で75%、中学校では73%と最も多く、同程度の評価となっています。希望では「もっと少ないほうがよい」が小学校で14%、中学校で20%と、「もっと多いほうがよい」を大きく上回っています。

現在の学級数については、「ちょうど良い」が小学校で61%、中学校では68%と最も多く、中学校の方が評価は高くなっています。希望では「もっと多いほうがよい」が小学校・中学校ともに28%と、「もっと少ないほうがよい」を大きく上回っています。

全市と比較すると、児童・生徒数ともに「ちょうど良い」、学級数は小学校が「ちょうど良い」、中学校が「ちょうど良い」と「もっと多いほうがよい」とする保護者が、全市よりも南部ブロックでは多くなっています。

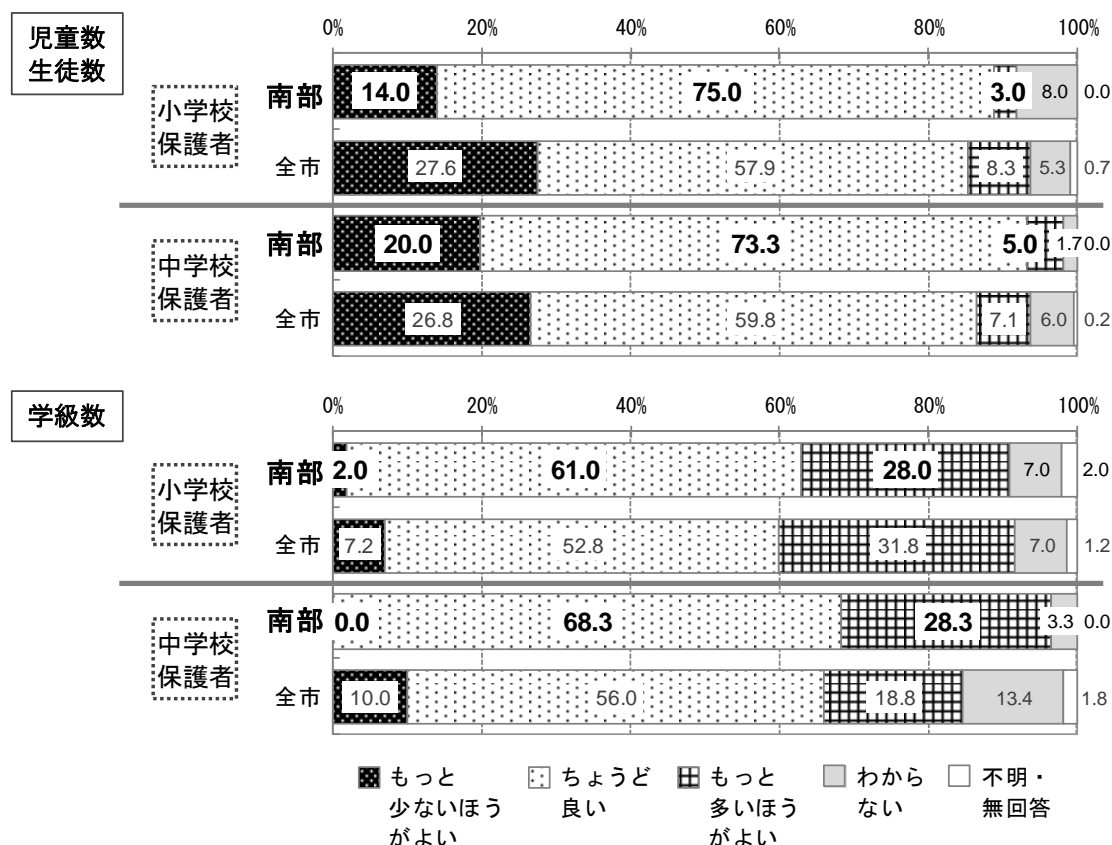


図 現在の児童数・生徒数および学級数に対する意識<保護者調査>

②学校規模の見直しの必要性について

設問【市民・保護者】 あなたの地域の小学校・中学校について、より良い教育環境を実現するため、学校の統合や分離新設、通学区域の見直し等、何らかの見直しが必要であると思いますか？(1つ)

居住地の学校についてのより良い教育環境を実現するための見直しの必要性は、小学校については、【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「現状のままでよい」が「見直しが必要である⁶」を大きく上回っています。一方、【市民】では「見直しが必要である」と「現状のままでよい」が35%前後でほぼ拮抗しています。

中学校については、【市民】【小学校保護者】【中学校保護者】ともに、「見直しが必要である」が「現状のままでよい」を大きく上回っています。

全市と比較すると、【市民】では大きな差は見られないが、【小学校保護者】が小学校は「現状のままでよい」及び中学校は「見直しが必要である」とし、【中学校保護者】が中学校の「見直しが必要である」とする回答が、全市よりも南部ブロックでは多くなっています。

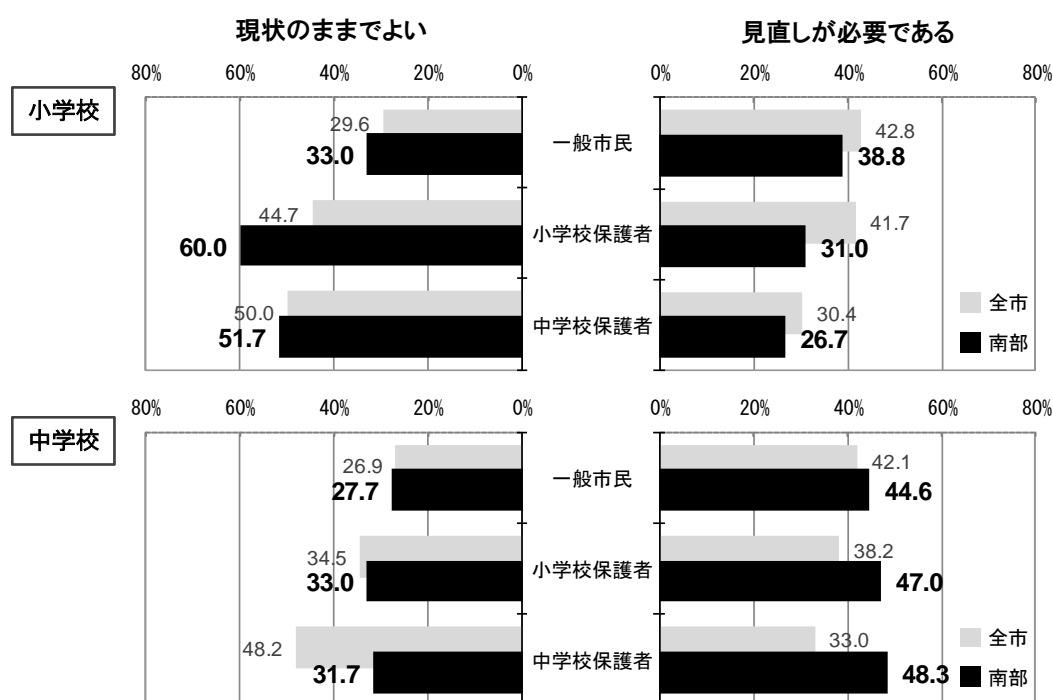


図 より良い教育環境を実現するための見直しの必要性<市民調査・保護者調査>

③教育環境の充実策について

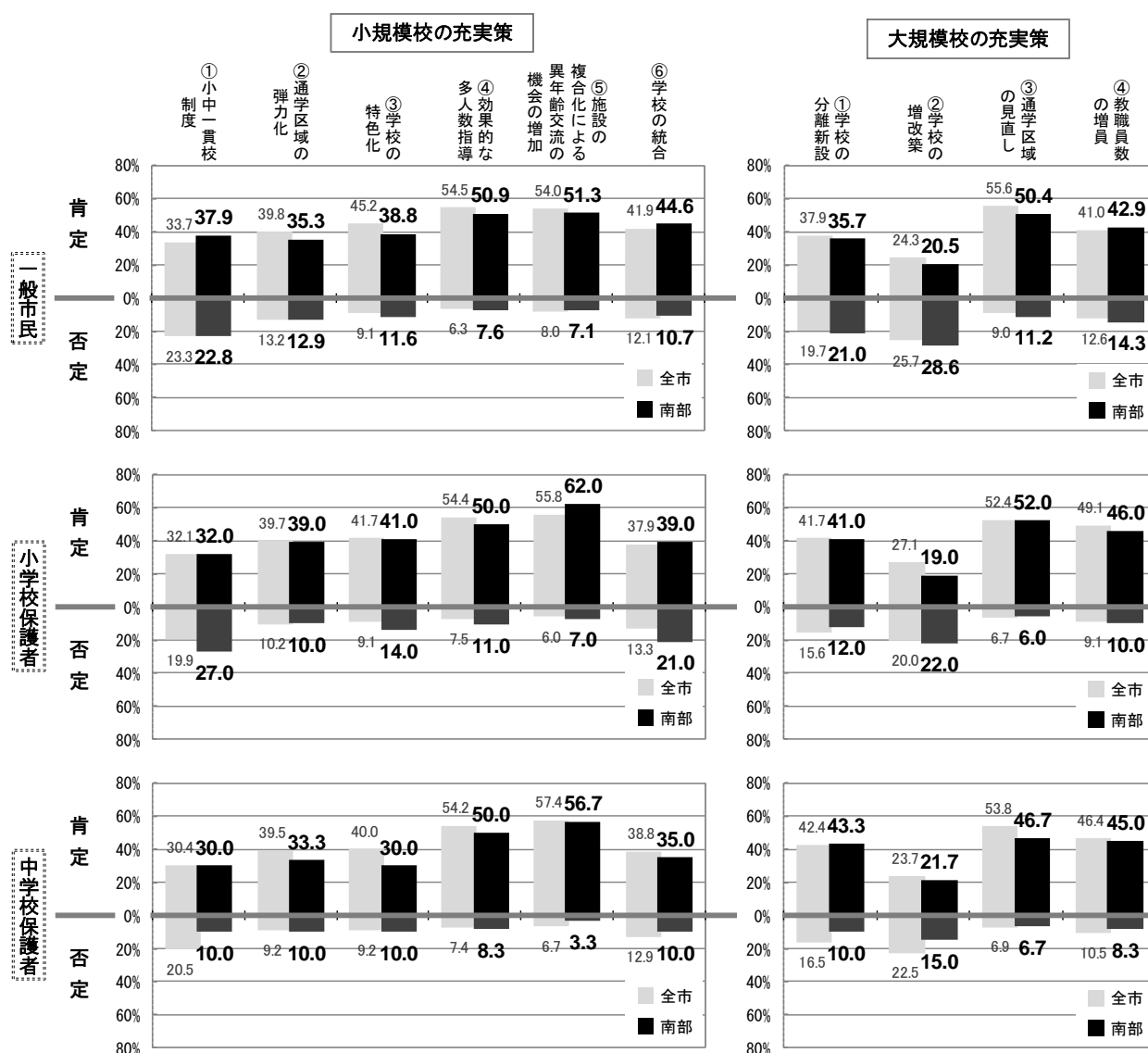
設問【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。
 【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。

⁶ 「見直しが必要である」は「現時点から見直しが必要」＋「将来的には見直しが必要」の合計

小規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「効果的な多人数指導」「施設の複合化による異年齢交流の機会の増加」の3施策となっています。

大規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【小学校保護者】では、「通学区の見直し」の1施策となっています。【中学校保護者】では過半数を占めている施策はありません。

全市との比較は、【小学校保護者】では、全市よりも『肯定』が5ポイント以上高いものとして、「施設の複合化による異年齢交流の機会の増加」があげられます。一方、【市民】【中学校保護者】では、全市よりも『肯定』が5ポイント以上高い施策は見られません。



【肯定】：「導入すべきである」と「どちらかといえば導入した方がよい」の合計
 【否定】：「どちらかといえば導入しない方がよい」と「導入すべきでない」の合計

図 小規模な学校の充実策および大規模な学校の充実策＜市民調査・保護者調査＞

資料2 学校についての保護者・市民の意識

回答者数	一般市民	小学校保護者	中学校保護者	(人)
全市	1,832	1,234	448	
東部	359	300	100	

①現在の学校規模の評価について

設問【保護者】あなたのお子様の学級の児童数・生徒数について、どのように感じておられますか？(1つ)
 【保護者】あなたのお子様の学年の学級数について、どのように感じておられますか？(1つ)

現在の児童・生徒数については、「ちょうど良い」が小学校で47%、中学校では58%と最も多く、中学校の方が評価は高くなっています。希望では「もっと少ないほうがよい」が小学校で41%、中学校で30%と、「もっと多いほうがよい」を大きく上回っています。

現在の学級数については、「ちょうど良い」が小学校で61%、中学校では45%と最も多く、小学校の方が評価は高くなっています。希望は、小学校・中学校ともに「もっと少ないほうがよい」が「もっと多いほうがよい」をやや上回っています。

全市と比較すると、児童数は「もっと少ないほうがよい」、学級数は小学校が「ちょうど良い」と「もっと少ないほうがよい」、中学校が「もっと少ないほうがよい」とする保護者が、全市よりも東部ブロックでは多くなっています。

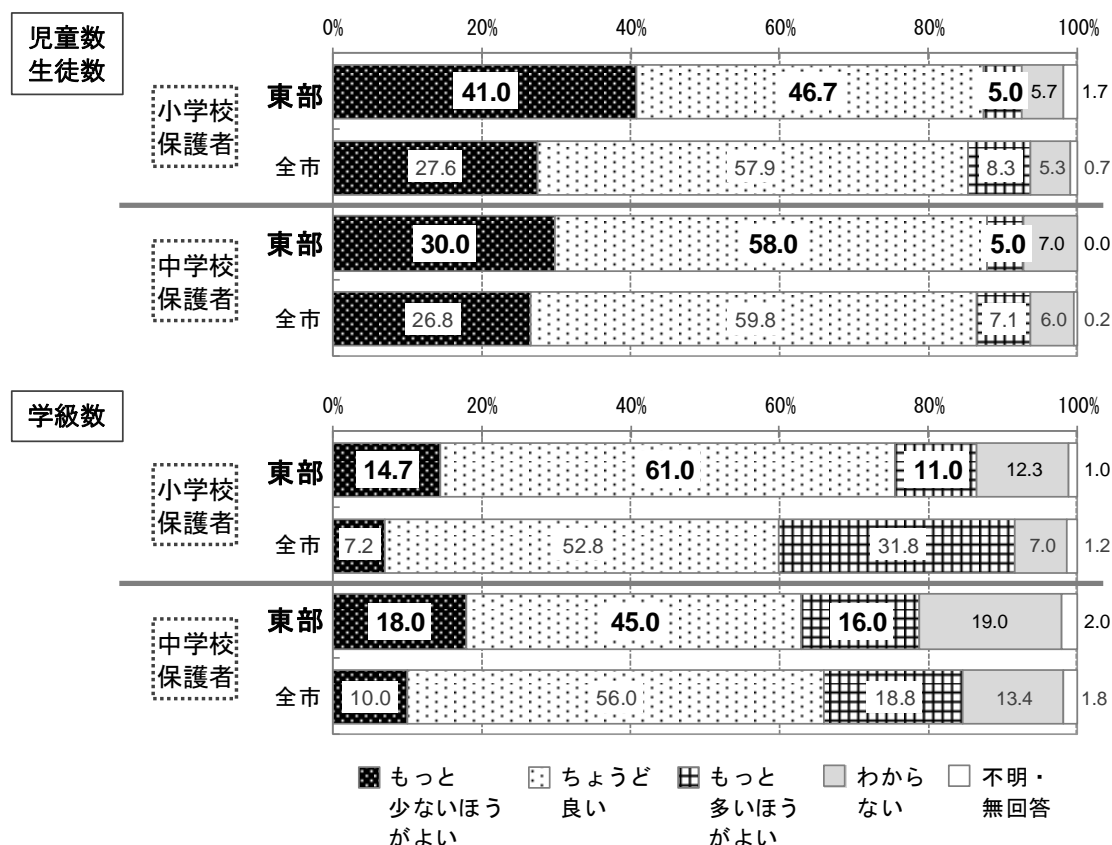


図 現在の児童数・生徒数および学級数に対する意識<保護者調査>

②学校規模の見直しの必要性について

設問【市民・保護者】 あなたの地域の小学校・中学校について、より良い教育環境を実現するため、学校の統合や分離新設、通学区域の見直し等、何らかの見直しが必要であると思いますか？(1つ)

居住地域の学校についてのより良い教育環境を実現するための見直しの必要性は、小学校については、【市民】【小学校保護者】では「見直しが必要である⁷⁾」が「現状のままでよい」を大きく上回り、一方、【中学校保護者】では「現状のままでよい」が「見直しが必要である」を上回っています。

中学校についても、小学校と同様に、【市民】【小学校保護者】では「見直しが必要である」が「現状のままでよい」を上回り、一方、【中学校保護者】では「現状のままでよい」が「見直しが必要である」を大きく上回り、調査対象主体の別により意見が分かれています。

全市と比較すると、【市民】【中学校保護者】では大きな差は見られないが、【小学校保護者】が小学校の「見直しが必要である」とする回答が、全市よりも東部ブロックではやや多くなっています。

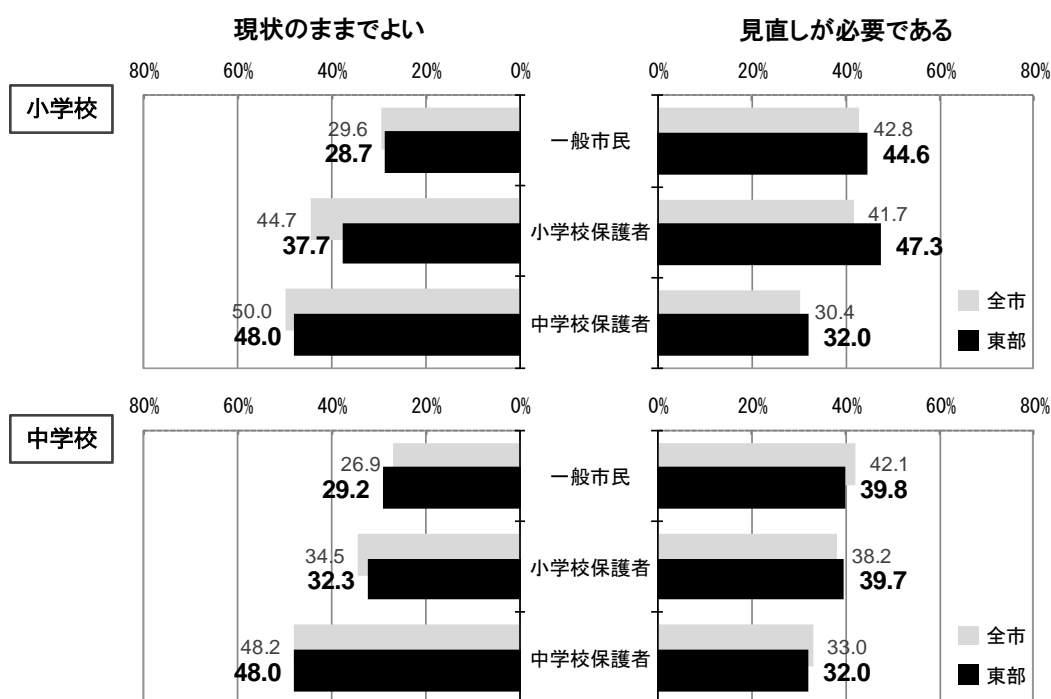


図 より良い教育環境を実現するための見直しの必要性<市民調査・保護者調査>

③教育環境の充実策について

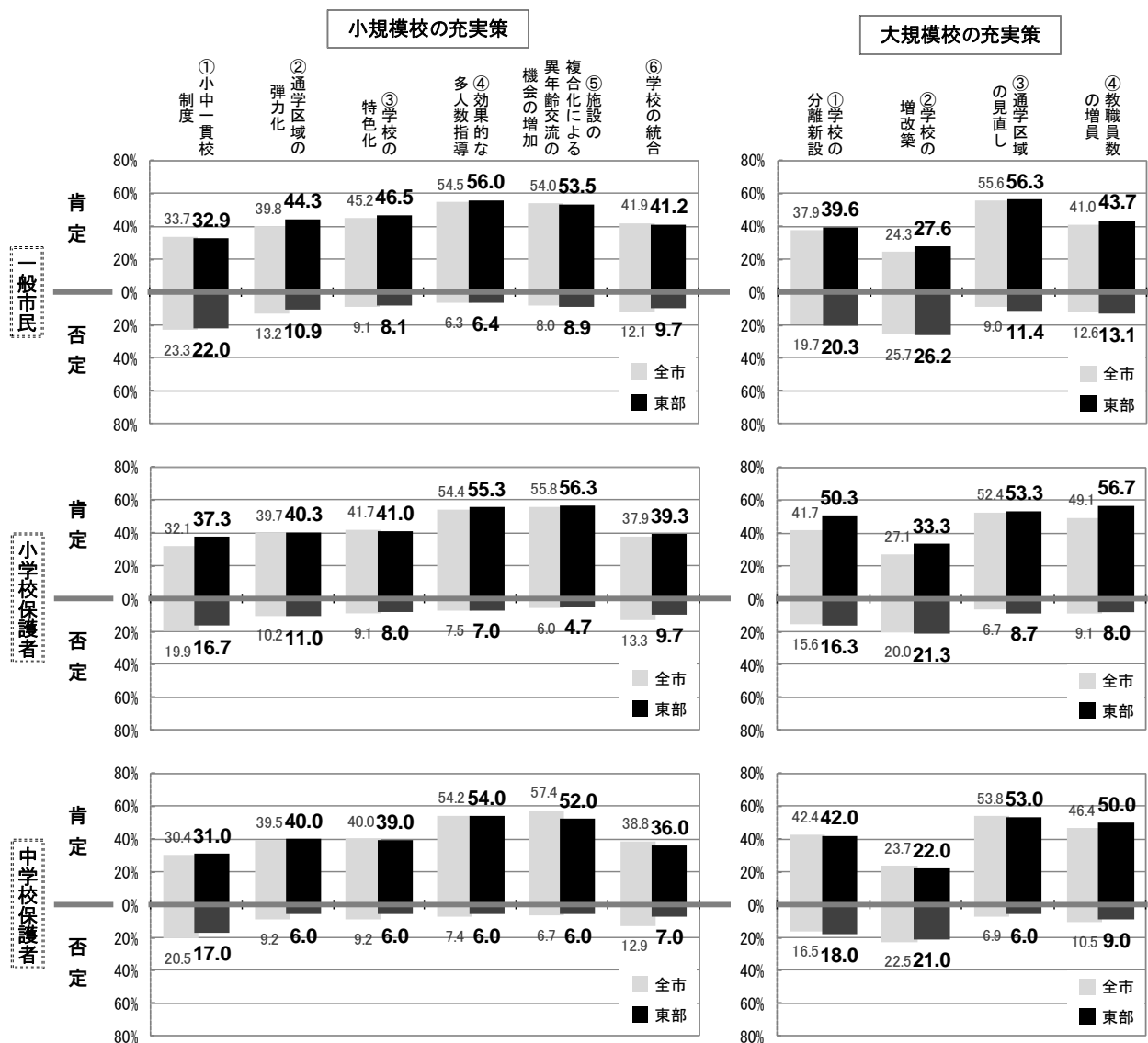
設問【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。
 【市民・保護者】 小規模な学校及び大規模な学校に対する教育環境の充実に向けた以下の手法について、大津市として導入していくべきか、すべての手法についてお答え下さい。

⁷⁾ 「見直しが必要である」は「現時点から見直しが必要」＋「将来的には見直しが必要」の合計

小規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【市民】【小学校保護者】【中学校保護者】ともに「効果的な多人数指導」の「施設の複合化による異年齢交流の機会の増加」の2施策となっています。

大規模な学校の充実策について、『肯定』が5割以上は、【小学校保護者】【中学校保護者】では、「通学区域の見直し」と「教職員数の増員」の2施策で、【小学校保護者】では、「学校の分離新設」も過半数を占めます。【市民】では「通学区域の見直し」のみとなっています。

全市との比較は、【市民】【中学校保護者】では大きな差は見られません。一方、【小学校保護者】では違いがあり、全市よりも『肯定』が5ポイント以上高いものとして、「小中一貫校制度」、「学校の分離新設」、「学校の増改築」、「教職員数の増員」があげられます。



【肯定】：「導入すべきである」と「どちらかといえば導入した方がよい」の合計
 【否定】：「どちらかといえば導入しない方がよい」と「導入すべきでない」の合計

図 小規模な学校の充実策および大規模な学校の充実策＜市民調査・保護者調査＞